

第3弾

これからの奥出雲町の幼児教育・保育について

～幼保連携型認定こども園開設に向けて～

A 運営者から入園に関する説明やご案内を適宜実施していく予定です。

Q 4月の開園までに実際に入園する保護者向けに入園準備に関する説明会は開催されるの？

広報6月号、8月号をご覧になっていない方は、併せてご覧ください。

町では令和8年4月の横田地域における幼保連携型認定こども園開設に向けて運営者等と準備を進めています。その一環として、4月に講演会、6月～7月にかけて町長との子育て意見交換会、また、様々な場面で町民の皆様への説明の場を持たせていただき、その中でいただいたご質問とその回答を広報6月号、8月号に掲載してきました。

A 八川については、認定こども園の実習教育にも活用する木育施設※へと改修をします。運営者については検討中です。馬木については地域からの利用要望なども出ていますので、管理方法については地域の皆さんと協議させていただきたいと考えています。また、馬木については水辺の楽校なども活用して自然環境に触れながら感受性や好奇心

Q 閉園後の八川・馬木の園舎の管理はどうなるの？

A 現在、具体的な内容についてリハビリテーション学院、島根大学と検討しているところですが、作業療法の先生の知見や学生の実践の場として、子どもたちの日々の園での生活、あるいは活動の中で特徴や特性を早期に発見したり気づいたりできるようなプログラムを導入していきたいと考えています。

Q 特色ある教育・保育としてリハビリテーション理論を取り入れるということだけど、具体的にどんなことをするの？

A 横田地域の子育て支援センター・放課後児童クラブとも、認定こども園の運営者である学校法人仁多学園が運営者となる予定で準備を進めています。

Q 横田地域の子どもで支援センター・放課後児童クラブの運営者はどうなるの？

※「木育」とは？
子どもから大人まですべての人を対象に、木に触れることを通じて木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育むための取り組み

A 今回整備を進めている木育施設は、認定こども園だけでなく幼児園の皆さんのほか、町外の方にも利用していただける施設にする予定です。

Q 木育施設は認定こども園の子どもだけでなく、幼児園の子どもも使えるの？

を高めていくための実習教育を行っていききたいと考えています。

横田高校

横田高校の活動をお知らせする「よここうコーナー」



11月6日に、1・2年生を対象とした地元企業ガイダンスを実施しました。毎年行われているこのガイダンスには、今年度は21社にご参加いただきました。生徒は自分が希望する3社の企業を回って説明を聞くというスタイルです。生徒たちは、奥出雲にどんな企業があり、どのような仕事が行われているのか、自分に合った企業はあるのかを探っていきます。名前は聞いたことがあっても内容を知らなかった企業、知っているつもりでも実際には知らない面があった企業、制服を着させていただき雰囲気を感じた企業など、新しい発見の連続でした。1・2年生が参加する形になって2年目となりました。1年生にとっては初めてのガイダンスであり、2年生は昨年に続いて聞く企業や、今年初めて聞く企業など、自分で選んで参加することができました。就職希望者にとっては受験先を選ぶ貴重な機会となり、進学希望者にとっても、将来地元に戻ってきた際の就職先を考えるきっかけとなりました。何よりも「奥出雲の企業は熱い！頑張っている！」ということを感じられるガイダンスとなりました。生徒たちにも、この熱さが伝わったのではないのでしょうか。ご参加いただいた企業の皆様、誠にありがとうございました。

令和7年度
地元企業ガイダンス開催

11月10日に役場仁多庁舎で国際大会及び全国大会の激励式が行われ、選手たちが意気込みを述べました。



激励式が行われました

奥出雲の未来を育む！
スポーツ少年団のチカラ

第3弾

仁多地域ホッケー
スポーツ少年団

7年前に「仁多地域ホッケースポーツ少年団」に名称変更し、再スタートしました。子どもたちがそれぞれのペースで競技を楽しみながら、仲間とともに成長できる環境づくりを大切にしています。

指導者 小田川悟さん

ホッケーはまず楽しむことが大切で、楽しむからこそ続けられると考えています。子どもたちが小学校から中学・高校へと次のステージに進めるよう指導し、技術だけでなく人として成長することも目標にしています。用具は貸し出しも可能で気軽に体験ができます。現在絶賛団員募集中です。興味があれば見るだけでもぜひ来てみてください。

西村悠希さん（阿井小6年）

兄の影響で3歳からホッケーを始め、5歳から本格的に取り組んでいます。ホッケーを通して友達が増え、仲間と切磋琢磨しながら協力してゴールを決めたことが嬉しかった。現在は最後の大会に向け、どうすれば勝てるかを考えて練習中です。小学校を卒業しても続けたいし、日本代表になった兄を超えられる選手を目指しています。

荒木結衣さん（阿井小6年）

兄が楽しそうにホッケーをしていた姿を見て、5年生から始めました。リフティングや試合がとても楽しく、百回リフティングが成功した時には、続けられなくてもいいよと実感しました。試合の緊張感や仲間と協力する時間が好きで、これからももっと上手になれるよう練習を続けていきたいです。

ホッケーを通して仲間と出会い、努力し、成功体験を重ねながら成長している様子が伝わってきます。少年団ではいつでも見学・体験を受け付けています。興味のある方は、ぜひ一度足を運んでみてください。

団員数	創部年	年会費	練習日	連絡先
26名	平成30年	1,000円	水曜(18:30～20:00) 土曜(13:30～16:00)	090-4702-6919(元山)

